



地域内の代表的な品種「真妻」

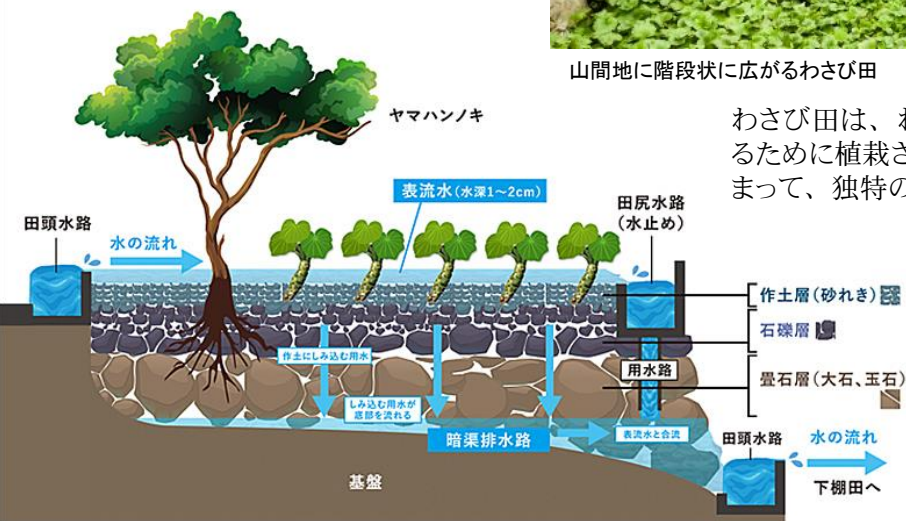
日本の固有種であるわさびを、沢を開墾して階段状に作ったわさび田で、肥料を極力使わず湧水に含まれる養分を利用して栽培する伝統的な農業を継承しています。



山間地に階段状に広がるわさび田

わさび田は、わさびを強い日差しから守るために植栽されたヤマハンノキと相まって、独特の景観を織り成しています。

栽培発祥から四百年間、自然環境と調和したわさび栽培が継承されています。



ハコネサンショウウオ

緩やかな水の流れは、ハコネサンショウウオなどの希少な生物に生息環境を提供しています。



世界農業遺産認定による効果(取組状況)

継 承

わさび苗の安定供給 担い手の確保

- ・ 県試験研究機関による効率的な苗生産技術の開発、実証普及
- ・ 若手生産者に対する築田技術研修会への支援
- ・ 地元小学校と連携した収穫体験等校外学習の実施
- ・ 地元小中学生向け教材の制作



保 全

生産と景観の両立 地域の保全意識醸成

- ・ 景観に配慮した生産資材の実証普及
- ・ 地域ボランティア団体による森林整備活動
- ・ 専門家による生物多様性調査の実施
- ・ 地元農業高校生に対する生物多様性ワークショップ開催



連 携

企業等との連携 本県産わさびの認知度向上

- ・ 協議会ロゴマークの制作
- ・ 「静岡水わさびの逸品」認定制度の創設
- ・ 地元観光事業者やジオガイド等と連携したわさびのP R
- ・ 協議会H P による情報発信
- ・ 市場関係者への農業遺産P R
- ・ 他認定地域と連携したイベント出展

